

かほく.るの

6月
定例会

議会だより

No. 55

平成19年
7月25日

題字 上富良野高等学校 書道部 2年 能島浩樹



出前講座：食べていきいき心と体「健康づくりは食事から」

主な記事

一般会計 総額63億3,390万円に補正 ②

町立病院の運営など7議員が一般質問 ④

これからどうする？ 8「行財政改革」 ⑭

平成19年第2回定例会開催

**8月改選を控え現議員最後の定例会
報告案件6件、議案8件、発議案5件を可決
一般質問に7名が登場**



平成19年第2回定例会が6月20日・21日の2日間開催されました。現議員では最後となる今定例会は、6件の報告案件、補正予算などの議案8件と町議会委員会条例の一部改正など発議案5件を審議し、すべて可決しました。

一般質問は7名が登場し、24項目について活発に論戦が繰り広げられました。

定例会最終日には町長から現議員に謝辞が述べられ、また議長からも4年間の各議員の協力に対し、お礼と感謝の言葉が述べられ、全日程が終了しました。

6月補正予算の状況

(単位：千円)

会計名	補正額	補正後の額
一般会計	8,397万6	63億3,397万6
国民健康保険特別会計	7,789万8	14億4,938万8
介護保険特別会計	3,523万6	6億8,923万1
簡易水道事業特別会計	129万8	8,849万3
公共下水道事業特別会計	100万5	3億6,200万5
ラベンダーハイツ事業特別会計	986万4	2億8,386万4
病院事業会計特別会計	51万0	8億9,971万4

平成19年度一般会計補正予算が審議されましたが、これは平成18年度予算が5月末で決算されたことから、その残金を平成19年度予算へ繰越すとともに、事業精査・実績による国・道からの補助金の変更などにより補正するものです。各会計別の補正額は表のとおりです。

補正予算

報告案件で、上富良野町振興公社の経営状況報告がありました。内容をみると売上高合計は1億287万1千845円、商品売上原価が1千485万4千98円で、売上総利益金額は8千801万7千347円となっています。

一方、販売費及び一般管理費は1億339万6千610円で、1千537万9千263円の赤字損失となりますが、営業外収益の2千985万5千756円をいれると1千447万6千493円の黒字となりました。

そのうち1千350万円を町へ寄附しており、税引後60万6千293円の利益でした。しかし、受託収入をなしとすると課題が残る内容です。

振興公社は保養センター白銀荘、日の出公園オートキャンプ場、町営スキー場、日の出公園を指定管理者制度により、町から経営、管理の委託を受けて営業をしており、決算状況のとおり、その営業収

(単位：円)

	金額
売上高	102,871,845
売上原価	14,854,498
売上総利益	88,017,347
販売費及び一般管理費	103,396,610
営業利益	15,379,263
営業外収益	29,855,756
営業外費用	13,500,000
経常利益	976,493
特別利益	0
特別損失	0
税引前当期純利益	976,493
法人税等	370,200
当期純利益	606,293

入を町へ寄附しています。

オートキャンプ場の利用は計画対比130%ですが、白銀荘は年々入館者が減少しており、前年度対比96.2%です。いずれ、老朽化が進む白銀荘の補修・整備をしなければならず、将来の状況を踏まえた準備が必要となってきました。今後は町民を始め、多くの人たちの利用を拡大し、業績をあげる努力をしていかなければ、経営状況は厳しい状態になることが予想されます。



白銀荘

発議案

発議案は8月の改選期に議員定数が14人となることから常任委員会の名称、人数、所管等の範囲を決定するもので、来期からは総務産建常任委員会、厚生文教常任委員会となり、各委員会7人ずつ2委員会制となります。

今までは総務文教、厚生、産業建設の3つの常任委員会でしたが、2委員会になることにより、所管範囲が拡大し、今後は委員会の開催回数や審議時間が大幅に増加することが予想されます。

2意見書を関係省庁に提出しました

道路整備に関する意見書
地球温暖化防止に向けた森林吸収源対策の着実な推進に関する意見書

選挙

北海道後期高齢者医療広域連合議会議員選挙が行われました。投票の結果、比布町議会議員の牧野勝頼氏が10票、幕別町議会議員の中橋友子氏が5票、当別町議会の竹田和雄氏が1票でした。

この選挙は各町村議会がそれぞれ投票を行い、すべての町村から開票結果の報告を受けた後、北海道後期高齢者医療広域連合選挙管理委員会の開く選挙会により、当選人が決定されます。

後期高齢者医療広域連合って？

75歳以上の高齢者を対象として、平成20年4月から新たに実施される「後期高齢者医療制度」の運営主体となるものです。

この制度の安定的な運営を行うため、都道府県単位で全市町村が加入することが定められています。



金子 議員

上富良野町の医療機関は存続させる 全力で最善の方策を尽くす

金子 国の診療報酬の引き下げにより、町立病院では入院基本料が減収となった。国は、平成23年度末までに療養病床の廃止を計画している。この

ことで、町立病院の36床の療養病床も廃止され、介護難民の発生が懸念される。

また、7億5千万円ある繰越欠損金も80%が減価償却費であることから、多額のお金は拠出されていない。このような状況で、町立病院を診療所に転換しては地域医療の崩壊となり、医療サービスの低下は著しいと予測される。胃カメラや大腸カメラ、頸部エコー等の検査も常勤医師と旭川医科大学からの派遣医師で実施しており、技術的にも非常に高いと聞いている。PRを充実させて現在の町立病院

が何としても地域医療を守るべく役割が果たせるように、救急も含め今の町立病院を存続すべきでは。

町長 国は、医療費削減のため平成18年度に3・16%という過去最大の診療報酬の引き下げを行った。また、療養病床の転換・廃止についても、国の医療保険及び介護保険の給付削減と社会的入院解消のための実施である。療養病床の入所者から介護難民を発生させないため、内部組織において検討・協議させ、国の介護保険計画や診療報酬の改正動向、地域実態などを総合してその方向を判断する。PR活動も今後は受診する側に立ち、町民の受診選択材料を周知するとの観点から広報活動に努める。

地域の方々が安全で安心



して暮らし続けるためには、病院の果たす役割は非常に大きく、欠くことのできないものと考えます。町立病院が今後この地域の医療を守り続けなければならぬということも前提として、現在、町立病院内部に上富良野町立病院経営検討委員会と役場に運営検討プロジェクト会議を設立し、町立病院の経営改善に取り組み。

サミット開催時に観光誘致を 富良野・美瑛広域観光推進協議会に対応する



金子 来年7月に開催されるサミットでの首脳夫人の訪問地として上富良野町へ誘致を。風光明媚な丘陵地帯、秀峰十勝岳連峰はもとより、世界に誇れる日本画の巨匠のアトリエがあることは非常に大きな強みである。季節も7月でラベンダーの花咲く丘と、美しい大地に加え日本画といった文化施設を加味することで、町の魅力は世界中に広がり、道内外への観光客誘致に最高の機会と考えるが。

町長 今回のサミットは地球環境問題がテーマとされており、当地上富良野町は自然豊かな大雪山国立公園十勝岳連峰を有し、富良野広域圏においては、肥沃で雄大な自然に恵まれた中で基幹産業の農業が創りだす田園風景、画壇を代表する日本画家・後藤純男画伯の美術館・ラベンダー園など、数え切れないほどの北海道を代表する観光資源が点在している地域であり、サミットテーマにマッチしていると考えるので、6市町村で構成している富良野・美瑛広域観光推進協議会を窓口として誘致を推進できるように働きかける。

その他の質問

Q 広域連合で消防本部は上富良野町に設置すべきでは。
A 現段階で断定的に申し上げることはできない。



村上議員

休日保育や休日一時保育の実施を ニーズを踏まえながら検討する

村上 上富良野町は特殊出生率が1・89%で道内でも上位にあるが、子どもを育てる環境として、子育てをしながら働いている母親も多い。中には保育所が休みの日曜日や祝日に働いており、日曜、休日に休みたなくても休めない状態にある。こうした実態を踏まえ、休日保育や休日一時保育があれば、安心して仕事と子育てが両立できるのでは。

厚生労働省では、平成11年度から休日保育に対する職員体制、費用負担等休日保育を効果的に進めるために補助をしている。運営費の半分は保護者が負担し、残りは国、道、

市町村が6分の1ずつ負担するものである。このような制度を利用し、子育て環境の充実を図ることはできないか。

町長 次世代育成支援行動計画に沿い、子育て家庭のニーズを踏まえながら、具体的な検討を進めたい。



中央保育所の子どもたち

行政評価システムの早期導入を 早期導入に向け取り組みたい

村上 行政評価システムを通じて事業評価、事業計画、予算編成へと連動させ、事業評価を踏まえた予算配分を行うと共に、協働のまちづくりを進める上でも行政の責任範囲を明確にし、協働の範囲を町民に共有化する必要があり、21年度から、スタートする第5次総合計画の策定作業についても単に町民に情報を公開するだけでなく、町民への積極的な説明責任が必要では。

町長 行政評価は町民との協

早期導入に向け取り組みたい

働や開かれた町政の取り組みと一体となった行政運営のシステムを確立していくため、極めて重要な課題と位置付け、同システムの確立に向けて、今年度は組織内部の各班ごとの事務事業を抽出して試行的に事務事業評価を実践する。早期導入を図られるよう取り組みたい。

認知症高齢者対策は 実態の把握に努め検討する

村上 認知症の高齢者が安心して生活できるよう、グループホームの新設が必要と考えるが、町では財政的なこともあり、新設はむずかしい状況にある。

他市町村では、民間でグループホームを建設した時点ですぐ認可がされるが、上富良野町の2ユニットのグループホームでは1ユニットだけ先に認可され、残りの1ユニットの認可が遅れているのはなぜか。

その他の質問

Q 清富小学校の現在の利用状況は。

A 利用を開始したばかりで多世代交流センターの利用実績はない。

Q 清富小学校は体験学習や炊事宿泊などが出来る施設に補修が必要では。

A 恒久的な活用策が決定してから整備を行う

町長 町の地域包括支援センター業務や毎年実施している高齢者実態調査により、その実態を把握するよう努めているが、2ユニット18床のうち、残されている1ユニット9床の指定については、今後の入所対象となる認知症高齢者の実態を勘案しながら事業所指定の可否を検討していく。

Q、これ以上の住民負担は止めるべき

A、住民負担を重点とした行財政改革は進めない



財政について

質問 町は平成17年度決算で夕張の半分の175億の借金がある。このところを町民の皆さんに、借金がいくらで、年間いくら返済すると何年で終わるということを示されたい。

町長 現在異常な財政を乗り越え、歳入イコール歳出の財政運営が可能になった借金145億、債務負担についても、今後の課題として残る大きな問題ではない。

質問 175億というのは町が総務省に報告した金額、夕張市は生まれた子どもが高校を卒業したら夢がある。

上富良野町はどこまで行けば夢があるのか、先細りで夢がなくなるのではないかと。19年度の借金は145億であり、交付税制度が堅持されることにより、何とか破たんのしない健全財政運営を目指して努力をしている。

質問 健全財政だが、上富良野町もせっかく努力をして夕張に並ぶ健全財政にな

ってきたので、今後は住民に財政負担を掛けないことである。はつきりいうと、使用料、手数料、増税はしないでいただきたい。

町長 住民負担を重点に行財政改革を推進していく考えは持っていない。

質問 今年の3月議会の町政執行方針で、2ページに渡り、駅前開発について述べている。これ以上負債を増やすことは、夕張の二の舞である。商工会の総会で議長もはつきりと財政的に無理といっている。これは住民投票が必要と考えるがいかがか。

町長 駅前市街地の件については今までまちづくり委員会等で立てた計画等の中において、まだまだ見直さなければならぬ部分もあり、わが町の財政状況から、今期総合計画ではできないので、先送りをする。

質問 消防が来年4月1日を目途に合併とのことであるが、広域行政の枠は崩れないのか。また、議会の

たちはどうなるのか。



梨澤議員

町長 消防署長は一人になり、消防本部に位置する。現在一部事務組合ごとにある議会は広域連合になれば、これらを一つにして、議会は一つとなり、屋上屋を重ねる議会については広域連合においてもかわらないが住民に直結した対応が図れるような広域行政の推進を模索していく。

質問 法令上書き権について、これは基礎自治体に分権をする。とあるが、この法令上書き権は、政令、省令で国が定めたことを地方議会が条例により、改定することができるといふ権限だが、これは広域連合にも分権されるのか。

町長 初めて聞いたが広域連合で対応できる手法等も今、十分処理できているところであるので今後の広域行政の推進と並行して対応したい。

住民自治について

質問 住民自治は、「住民の意見を聞いた」、「話を聞いた」ではいい事にならない。住民と一緒にやる、またはやっていただく、ここまでいかなければ、本町の住民自治にはならない。夕張市でさかんに議会とは違う協議会をつくっているが究極は一緒にやる、もしくはやっていただくというつめたところまでの話が必要ではないかと考えるがいかがか。

町長 町行政が何をやるのか、住民が何をやるのかそれぞれを分担して対応する自治活動を進めることが大切である。

〓〓その他の質問〓〓
 ・町立病院問題について
 ・町広報への年度予算の掲載金額と議決金額の違いについて



元気に通学する児童・生徒

Q 悪化する社会・家庭秩序についての対応施策は
A、関係団体と連携を密にし安全・安心の地域づくりに全力で取り組む

社会及び家庭秩序について
質問 現在、社会や家庭の秩序が崩壊し、想像を絶する事件が日常茶飯事のように発生。その異様さと重大さに戦慄し驚愕の日々である。この重大時に行政、住民が一体となり力を合わせて真剣に考え、健全社会の構築に向け課題を克服し、次世代に引継ぐ責任がある。どのような施策を持って対応解決されるのか。

次に、教育長は執行方針で重点項目の第一に『あいさつ運動』に取り組みと示されたが、取組内容、経過について詳細に伺いたい。私は現在『あいさつ運動』を展開しているが、子供や大人の方から積極的に明るい挨拶が返ってくる。町長・職員も率先して自主的にあいさつ運動や街頭指導を実践し、範を示すべきである。「言っは易し行ふは難し」ということわざがあるが、行動が伴っていない。

町長 関係団体と密接な連携を図り地域生活の安全確



北24号道路に歩道の設置を

保や健全化に努力、また自主的組織による登下校時の防犯、交通安全指導、この運動が地域全体の運動となるよう一層の推進を図りたい。私も自らの実践については、高額時間給、職員定数削減等々で非常に多忙を期している中で難しく、大きな課題として今後も押さえながら地域の安心・安全の対応を推進していく。

教育長 校長会、教頭会を通じ教育行政執行方針を配布、重点推進項目の趣旨と目的を説明、積極的な取り組みを指示、保護者に家庭教育を依頼している。初年度であり成果を報告できる状況にはない。

路線改良について
質問 北24号路線は、斜線を利用して頻繁に通行、非道を危険であり、早急に歩道の設置が必要である。

また、以前から危険性を指摘している基線北27号交差点で乗用車と高齢者の自転車による事故が発生した。歩道及び信号機の早急な設置を求める。

町長 北24号道路は、近年大型車両の通行が増え、歩行者や自転車等の交通事故の多発が危惧される事から地域住民から歩道の設置の要望があるが、当該路線は用地補償が難しく多額の投資が必要であり、現在の財



清水 議員

政状況からして早急な整備は極めて難しい。

北27号道路の歩道及び信号機の設置については、引き続き関係者と協議を進めていきたい。

2点の道路は改良が必要と認識している。多額な財政投資、用地問題等の解決が必要であるが、早急な対応を図らなければならぬと考えている。しかし現在の財政状況等を見ると、私の任期中に対応するのは難しい。

町有地の活用について
質問 中町の消防団分遣所跡地利用について、産業建設常任委員会の所管事務調査報告でも中心市街地に広い駐車場が無く消費者ニーズに対応していないと指摘されている。中心市街地活性化の上から駐車場設置を。土地利用については、駐車場として活用することも一つの考え方として受けとめるが、他の行政需要なども含め、広い視点で検討したい。

Q、小中学校の安全・安心対策のため耐震診断を早急に

A、4校7棟の耐震診断を要するので、平成20年度より計画的に行う



小中学校校舎の耐震診断を早急に実施を

質問 北海道の小中学校の耐震診断実施率は66%（全国89%）、校舎の耐震化率は44%（全国58%）と文部科学省から発表され、北海道は下から4番目である。

道内で、耐震診断の実施も計画もゼロ」の33市町村の中に上富良野町が入っているが、次の各項を伺う。

町内の小中学校校舎で耐震診断を要する学校は、

耐震診断の未実施の要因と、今日までの取組み経過を明らかに。

耐震診断と耐震化は、児童生徒の命にかかわる問題で、まず、耐震診断を早急に行うべきで、その実施計画について明確に。

教育長 耐震診断を要する学校は、上富良野小学校校舎2棟、東中小学校校舎1棟、上富良野中学校校舎2棟と講堂1棟、東中学校校舎1棟の「4校7棟」である。

昭和56年以前に建てられ

た学校施設の耐震診断は、未実施で、この間に役場内にて学校施設と公共施設を含めた中で、耐震診断及び改修等の具体的な年次計画を早急に策定する予定である。

平成20年度に町全体の公共施設の「耐震改修促進計画」の策定を予定しており、その中で建築年度が古く、老朽化が著しい「上富良野小学校」の耐震診断を最優先に実施し、他の学校は計画的に進める。

質問 島津公園の利用について地域の住民、高齢者の皆様から次の要望があるので、見解を求めます。

島津公園南側入口に階段があるが、車椅子でも出入りできるバリアフリーのスロープ化への改善を。

池の奥の方は利用者が少ないので、地域住民の利用者による協働で維持管理するので、簡易パークゴルフ場のコース設置を。

町長 土地改良区の用水が横断しているが、平成20

年度に公園内の用水路を管水路に切替整備をするので、それにあわせてスロープ化を取り進める。

平成15年度上富良野町パークゴルフ場オープンの際に、公園内で危険ということで廃止したが、一方で、存続の意見も寄せられた。総合的に判断して、今後も安心して利用できる公園として維持管理していく。

国民年金の年金記録漏れ等について

質問 社会保険庁による国民年金の記録漏れが5千万件もあると報道されているが、当町が納付事務を行った平成14年3月までの納付原簿等について、次について伺う。

納付原簿の保存状況とその件数。

相談窓口の開設と、社会保険事務所の当町での臨時相談窓口開設の考えは。

町民生活課長 昭和36年4月から、平成5年5月までは、紙カードとして延べ2万6千600件を五十順に保



中村議員

存、併せて昭和58年度の電算化により、平成14年3月まで別に保存している。

相談窓口は現職員で対応し、広報6月、7月号にて町民周知を図る。社会保険事務所の臨時相談所は7月4日開設予定である。

質問 現在27ホールだが、他市町村に36ホールのコ

スガでき、利用者が減少しているため、次について見解を伺う。

36ホール化についての基本的な考え方は。

36ホール化で広く町民の意見を聞く機会を作つては、

教育長 基本的には近隣市町での整備状況や大会運営の効率性、一般愛好者拡大を図る上からも、大変理想的と考えているが、財政状況と町民の皆様の考え方を把握し決定していく必要があると考えている。

総体的に幅広く意見を聞き、将来の方向性を定めていく。



米 沢 議 員

自衛隊演習場の騒音被害対策を早急に 防衛施設局により 砲撃音住宅防音の事業化を検討

米沢 砲撃訓練による騒音で家屋が振動する、自衛隊が発信すると見られる電波で、テレビの画像が乱れるなどの苦情が地域住民から寄せられているが、対応は。

町長 自衛隊の上富良野演習場では年間を通じ、砲撃や射撃の訓練が行われている。この演習による周辺地区などへの振動や騒音に関する苦情については、役場や上富良野駐屯地に年間約10数件寄せられている。

そのほとんどは「音がうるさい」「振動がひどい」などと

いうものであり、町に寄せられた苦情はそのつど、上富良野駐屯地に連絡しています。演習場周辺住民の方と懇談会を開催し、意見を聞く機会をできる限り設けているほか、国に対して、一般の住宅防音対策の要望を行っている。今年から、札幌防衛施設局により、砲撃音住宅防音の事業化を検討するための調査が実施されることになった。今後とも、必要な対策が講じられるように、国、関係機関に要望したい。

学校の耐震化診断を早急に 上富良野小学校を優先的に実施したい

米沢 道内での耐震化診断未実施の自治体は33市町村で、上富良野町も入っているが、今後の耐震化診断の実施計画を明確にすべきでは。

教育長 上富良野町の小中学校における耐震化率は棟数で50%、新耐震基準を満たしている校舎、屋内体育館は上富良野小学校体育館、西小学校校舎、東中中学校体育館、江

幌小学校、上富良野中学校体育館、東中中学校体育館である。町としても、平成20年度において、小中学校や役場庁舎も含め、上富良野小学校、東中中学校、上富良野中学校、東中中学校の5施設8棟の「耐震改修計画」を策定し、耐震化診断及び、改修等の計画を町部局との連携で策定したい。



上富良野演習場周辺

町立病院に小児科の設置を 小児科医師の確保が困難で考えていない

米沢 町立病院に小児科外来設置を望む声が聞かれるが、対応について伺いたい。

町長 小児科の設置は、小さなお子さんを抱えている両親や家族にとつて切実な願いだと認識している。しかし小児科医師は労働過重などから敬遠され、なり手が少なく、医師不足の現状にあるため、現段階においては小児科の設置の考えはない。

その他の質問

Q 西小学校グラウンドの整備を。

A 総合計画にもりこまれるよう努力したい。

Q 住宅改修時の補助制度について。

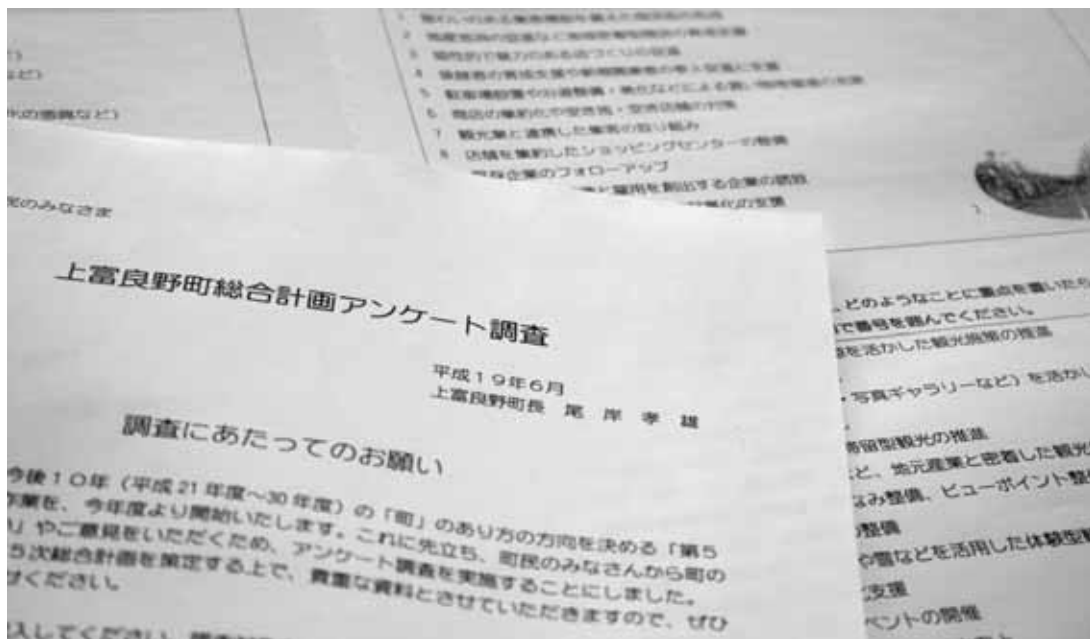
A 地域活性化の対策につながることは認識しているが、現在は考えていない。

Q 町立病院の運営について。

A 地域の医療機関として確保していきたい。

Q、第5次総合計画の策定は

A、時勢を考慮し「継承発展」



第5次総合計画策定にあたり町長の基本姿勢は
質問 平成21年度が開始年度の第5次総合計画の策定にあたり、町民が将来的に希望を持てる、真の豊かさを、総花的でなく、「ふれあい大地の創造」にどのように展開させる考えか。
町長 第4次総合計画の評価を十分に行い、時勢を考慮した上で、継承すべきものは第5次総合計画に継承したい。
 とりわけ4本柱の一つ、「共に創るまち」に関しては、協働によって成り立つ自治を目指すものであり、継承・発展させるかたちで位置付けたい。

第5次上富良野町総合計画の策定について
質問 1千200人の町民からアンケートをとるといふことは、どのような内容で協力してもらうのか。苦しい町の台所を説明しなければ、実効性のある計画にならないのでは。
 この町に住んでよかったという実感を醸成するためには行政主導の総花的にならず、攻めの考えで町民の理解をうるといふ、基本姿勢が肝心と思うが、町長の見解を賜りたい。
町長 今後実施するアンケートの結果やパブリックコメントなどを通じ、町民から多くの意見をいただき、第5次総合計画へ反映するように努めたい。

第4次総合計画で具体化していない事業は
質問 第4次総合計画の事業であった駅前再開発事業について、今後はどのような計画があるのか。
町長 駅前再開発については、現総合計画の中では財政的に対応できず、次期総合計画に繰り延べている。現在もいろいろなる予算を使っているが、駅前整備については重要な課題の一つとして位置づけ、5次総合計画に継承、発展させるか位置付けていきたい。
西小学校グラウンド整備について
質問 西小学校グラウンド整備について、平成14年9月の定例議会、子ども議会での答弁にグラウンド整備基本計画を策定して、次年度に整備を進めていきたいと答弁があつたが、今の考えをお聞きしたい。
町長 西小学校グラウンドの整備計画を立てて、平成17年に対応しようと進めたところであるが、暗渠を掘つただけでは水はけも十分対応できず、表土を全部取り替えなければならないなど、大規模な工事になるといふことで、今期の財政の中では難しいということから、繰り延ばさせていただいている。

財政はよく承知している。西小学校グラウンドは子ども達のことを考え、一日も早く整備を遂行して頂きたい。
町長 西小学校グラウンドについては、開設以来から私の子どももお世話になり、PTAの役員もさせていただいたということで、運動会の苦しさ等は十分に承知をしている。
 教育長が答えているように、第5次総合計画の中で、着手できるように私自身も努力していくので、ご理解いただきたい。



小野 議員



委員会所管事務調査報告

総務文教、厚生、産業建設常任委員会の閉会中の継続調査として付託された所管事務調査について、6月定例会で報告された調査所見の要旨をお知らせします。

総務文教



適切な教育的支援を『特別支援児への対応策』

これまで、障害のある子供の教育は、特殊学級等により、「特殊教育」が進められてきたが、学校教育法の一部改正により平成19年から障害のある児童生徒一人ひとりのニーズに応じた「特別支援教育」を実施し、幼児期から中学校卒業まで一貫した支援体制を目指しています。

学校では、コーディネーター制度により、「少しでも早い時期に気づく」

という取り組みがあり、保護者の理解を求めながら、その子にとって何が必要なのかを模索し、校長先生をはじめ、教職員が一丸となり、また、保護者・学校・地域での連携を密にして適切な教育的支援を進めていくことが、最も重要です。

自主防災組織のさらなる充実を『災害対策』

上富良野町では、十勝岳噴火災害を想定した避難訓練しか行われていません。そのため、対象地域以外ではほとんど防災訓練、避難訓練が行われず、地域避難所すら住民に周知されていない地域もあり、定期的な避難訓練は町民の意識を高めるためにも必要であります。

現在の町の体制では、災害が起きても被害の状況を正確に集約できるシ

ステムになっていないため、情報の収集が困難と思われ、そのため情報収集委員の設置が必要になります。

今後は、自主防災組織のさらなる充実を図り、地域の中で「誰が誰を救出するのか」という事を、日頃の訓練と地域コミュニケーションの中から育てていく必要性があります。



新潟県中越地震による崩落現場

積極的な活用を『指定管理者制度』

効率的な施設運営、維持管理費用の軽減について検討を行い、施設の集約化、住民管理、指定管理者制度の導入を図っています。

また、施設の民間移譲では、「経費老人ホーム」、「西保育所」が民間に譲与されました。

今後も指定管理者制度の積極的な活用と併せて、民間移譲、民間業務委託等が不可欠と考え、これらにより財政の健全化を図れるものと思われれます。



日の出公園オートキャンプ場

厚生

『高齢者と虚弱・介護認定者・認知症老人の現状』

上富良野町の総人口は昭和60年度の1万4千127人から平成18年度は1万2千447人と減少しつつあります。また、少子化により15歳以下の人口は、昭和60年度の3千167人から平成17年度は1千762人と減少してきています。ア、65歳以上の高齢者人

口は昭和60年度1千402人から、平成8年度1千995人で高齢化率は15・17%、平成18年度は2千785人で22・37%となり、65歳以上の高齢者は790人と増加し、町の高齢者事業報告書によれば、平成31年度の高齢化率は28・8%と推計されている。

要介護認定者の病状を

見ると、高血圧、糖尿病、心疾患等の生活習慣病が脳卒中等を発症させ、生活機能低下や認知症等を引き起していることが見受けられています。

ウ、認知症老人数は、平成10年度に144人が平成18年度には349人と(41・3%)増加し、前期高齢者が46人(13・2%)、後期高齢者が303人(86・8%)と後期高齢者が圧倒的に多く、加齢とともに病状が進行し、障害の発生率が高くなってきています。



長野県池田町の総合福祉センター「やすらぎの郷」を視察

『住民基本健診の現状について』



住民検診のようす

上富良野町では住民が

健康で安心して暮らせるために、国保ヘルスアツプ事業計画を策定して、

受診率の向上と生活予防対策に取り組んできてい

ます。その結果、住民基

本検診の受診率は平成14

年度が73・7%、平成17

年度が77・7%と平成16

年度の全道平均の33・6%、全国平均の44・4%よりも高受診率となつて

います。

平成17年度の国民健康

保険被保険者4千831人の

うちの40歳から64歳まで

の受診者数は男性409人、

女性1千3人と男性の受

診率が低くなっています。

また、20代から39歳までの若年層の受診率の向上が今後の課題となつてい

まとめ

町民がこれからも健康で安心して生活をしていくためには、若年層の受診率の向上、各種保険加入者との連携強化など、住民検診、個別指導、地域指導(食・生活)、職場の協力など多様な組み合わせのなかで、保健指導などの制度を向上させることが必要になります。

また、多くの地域住民が健康づくりに関心をもち、住民自らが居住する地域で健康管理や保健指導教室の実施を支援してもらう、世話役などの取り組みが必要になってきています。

さらに、上富良野町立病院や社会福祉協議会を始めとする福祉関係団体との連携と充実が求められています。



産業建設

『商店街再生・駅前再開発』

北海道では依然として景気の回復が遅れ、そのことが要因となり、中央との格差が広がっています。

このことは、わが町の商店街においても同様の現象が見られ、スーパー、百貨店などの大型店舗と中小小売業者との格差も大きく広がってきています。

この要因の一つには、大規模小売店舗法により、中小企業と大型店との商業調整を行ってきたが、近年、規制緩和による改正が行われ、大型店舗の進出を容易にしたことが考えられます。

また、急速なモーターゼーションの影響を受けて狭い中心市街地から、広い駐車場を持てる郊外への店舗の移設等により、駅周辺の空洞化によるところが大きいです。上富良野町においても、特に平成に入ってから的大型店舗進出も著しく、年間小売販売額が減少していく中で、その販売額の大

部分が大型店舗によるものとなっております。

このような状況下で、販売額も伸び悩み、購買人口の空洞化が目立つ中心市街地の活性化のためには、広く分散した商店街の中にある遊休地などを効果的に利用し、小さく集約した商店街形成が必要となり、加えて自動車社会に対応すべく広い駐車場を兼ね備え、ゆとりと買い物ができるよ

うにすることが必要になります。

これからのまちづくりは、楽しく魅力があり、高齢者から子どもまでが安心、安全（バリアフリー等）に買い物ができ、ホスピタリティーあふれる飲食機能、観光性の強化など、を図り、広域集客のできる「まちづくり」を行うことが必須となります。



中心市街地活性化のための拠点施設(佐野市葛生地区)

先進地の長野県小布施町、栃木県佐野市の葛生地区においても地球環境、歴史、伝統文化、遺産、工芸、人、街並み景観などの「まちづくり資源」を最大限活用した個性的な事業、すなわち「集客の仕掛け」を図って大きな事業成果を出していました。



多くの人にとって暮らしやすい多様な機能をコンパクトに集積した、歩いて暮らせる生活空間を中心市街地に実現することが重要なことでもあります。



地域特有の資源を生かした観光の研究が行われている(佐野市葛生地区のフレスコ画)

これからどうする？

No.8

行財政改革推進実績について

今回の「これからどうする？」は平成16年度から行財政改革に取り組み組織機構改革や指定管理者制度による民間活力の導入などにより、その実績と効果を上げてきました。

その取り組みについて検証してみたいと思います。



組織機構改革

新組織機構を改革

(10課22班集体平成19年度)

行政委員会と附属機関等の見直し

【町議会関係】

議員定数等に関する住民会長と議員との懇談会

議員定数見直し協議を各常任委員会等で9回開催 議会運営委員会等で4回開催

議員定数改正条例議決 18人(14人(次期選挙から施行))

【農業委員会関係】

農業委員の定数削減委員の道外研修廃止

(平成19年4月1日)

【附属機関等の改善関係】

民生児童委員の道外研修廃止

(平成19年4月1日)

学校給食センター審議会廃止

総合計画審議委員会の縮小30人から15人

(平成19年4月1日)

職員数適正化計画の見直し

一般事務臨時職員のパートタイム化徹底

(平成18年4月)

職員定数改正条例(条例本則規定189人、平成19年4月1日施行)

人材育成基本方針の実践

職員研修「広域行政の動向」開催
職員接遇改善に向けた取り組み
広域研修参加

多様な人事管理制度の整備

町職員行政処分審査委員会規則制定
町職員事件事故審査委員会開催
行政処分審査委員会開催
異動希望自己申告に即した定例人事異動実施

(平成19年4月1日)

人件費の抑制

時間外勤務の抑制
役職加算の廃止
特殊勤務手当の見直し
新給料表の導入等

アウトソーシング基本方針の策定とその推進

ケアハウス・西保育所民間移譲
・財産譲渡議決



指定管理者制度による民間活力の導入

保養センター(白銀荘)・日の出公園施設(スキー場・オートキヤンプ)・パークゴルフ場管理の指定管理者制度へ移行選定委員会開催。見晴台公園管理の指定管理者制度開始

広域行政の推進

広域行政の研究推進
広域連合準備委員会事務局会議
広域連合準備委員会設立
広域連合第1回合同専門部会会議
道州制特区法案可決成立

自治基本条例の制定

自治基本条例町民検討組織設置
要綱決定
自治基本条例づくり検討会議開催

情報の共有化に向けた
取組強化

住民会意見・要望事項の各所管
随時受け付け対応へ周知
まちづく
りトーク、
町長と語
るつの周
知



行政評価システムの確立

推進のための庁舎内連携体制の
確認協議・政策評価の研究



パブリックコメント制度の
整備

平成18年度パブリックコメント
実施予定事案の周知
平成19年度パブリックコメント
計画の庁内取りまとめ

住民自治の推進

新住民自治活動推進交付金要綱
に基づく交付金の交付

税の徴収対策の強化

使用料・手数料の見直し
ごみ処理手数料の見直し
使用料条例の改正

受益者負担の適正化

滞納者行政サービス制限措置条
例の制定
「収納サービスの研究」
町税及び上下水道料金のコンビ
二収納及び北海道銀行での収納
開始（平成19年4月1日～）



まとめ

町では行政のスリム化が進められ、住民との信頼関係の上では、出前講座の実施や住民基本条例制定の検討がされています。

歳入では受益者負担の適正化により、ごみ処理手数料などの見直しや税収の確保、歳出では人件費の抑制・公共施設の間接委託や譲渡が実施され、町民の生活の中に、そのしわ寄せが出てはいるはずですが、

いま、住民の生活は給与や年金のカットで大変です。行政側の一方的な「行財政改革」になっていないのか、よく検討をすることも必要です。



議会の“窓”

全道町村議会議員研修会・倶知安町視察

7月3・4日の2日間、議員15名による視察研修を行いました。

3日は全道町村議会議員研修会に参加し、さわやか福祉財団理事長の堀田 力氏から「町村議員に期待する」、東京大学名誉教授の大森 彌氏から「分権時代の基礎自治体とその議会」をテーマにそれぞれ講演を受けました。

4日は倶知安町を訪問し、倶知安町の観光産業の振興について視察調査を行いました。



議会の動き

【4月】

- 4日 議会広報特別委員会
- 6日 議会運営委員会
- 11日 議会広報特別委員会
- 23日 議員協議会
- 23日 議会広報特別委員会

【5月】

- 10日 厚生常任委員会
- 11日 総務文教常任委員会
- 15日 議会運営委員会
- 17日 議員協議会
- 17日 産業建設常任委員会
- 17日 議会広報特別委員会
- 28日 第2回臨時会
- 30日 議会運営委員会

【6月】

- 4日 産業建設常任委員会
- 6日 厚生常任委員会
- 8日 総務文教常任委員会
- 13日 議会運営委員会
- 14日 議員協議会
- 14日 議会広報特別委員会
- 20日 第2回定例会（1日目）
- 21日 第2回定例会（2日目）
- 27日 富良野地区環境衛生組合議会臨時会

【7月】

- 3日～4日 全道議員研修会・倶知安町視察（札幌市、倶知安町）
- 6日 議会広報特別委員会
- 12日 議会広報特別委員会
- 18日 大空町総務委員会視察来町
- 19日 申内草地組合議会
- 20日 第3回臨時会

つばき

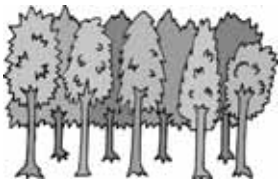
議会広報を担当して早いもので4年が経とうとしています。

この4年間で、大きな出来事といえば、議会広報49号が全道町村議会議長会の議会広報コンクールにおいて、最高位の「特選」に選ばれ、第37号の入選以来の栄えある表彰をいただきました。この事を受けて、遠軽町、岩内町からの視察がありました。「議会だより」の編集作業においては、今年4月より議会事務局の職員が4名から3名になり、広報委員の役割がとて大きく変わっています。

長年引き継がれた、一般質問のページも、前回から広報委員の一般質問のレイアウトを大幅に変えてみました。どうしても「多くの事を伝えたい」という思いから字数が多くなりがちですが、「読みやすい紙面、読みたくなるような紙面づくり」のために、委員、職員が一丸となって取り組んできました。

今後は、新体制のもと更に議会広報の充実が図られるものと期待するところです。

（若田 記）



- 委員長 米沢義英
- 副委員長 岩田浩志
- 委員 西村昭教
- ” 村上和子
- ” 金子益三
- ” 渡部洋己

議会の様子を見にきてください！ 次回は9月中旬頃の予定です。

発行/上富良野町議会 印刷/㈱上富印刷
 〒071-0596 北海道空知郡上富良野町大町二二二
 電話(0177)4951699 2 4951699 2 4951699 2 4951699 2